

第4章 交通施策と実施事業

1. 交通施策

「ひと」「暮らし」「まち」「行財政」の4つの視点から基本目標を定め、目標を達成するための施策を「公共交通施策」「自転車施策」「交通基盤整備施策」「公共交通利用促進施策」の4施策に整理しました。

2. 実施事業

交通施策に基づく個々の事業については、実施時期や実施地区、実施主体の役割を明確にすることにより、計画の実効性を高めることとしました。各事業の内容については次頁以降に記載します。

(1) 実施時期

各実施事業の実現の目途を、短期（概ね5年）、中期（概ね10年）、長期（10年以降）に区分しました。

(2) 実施地区

事業を実施する地区は、「区内全域で実施するもの」と「地域を特定して実施するもの」に分けました。

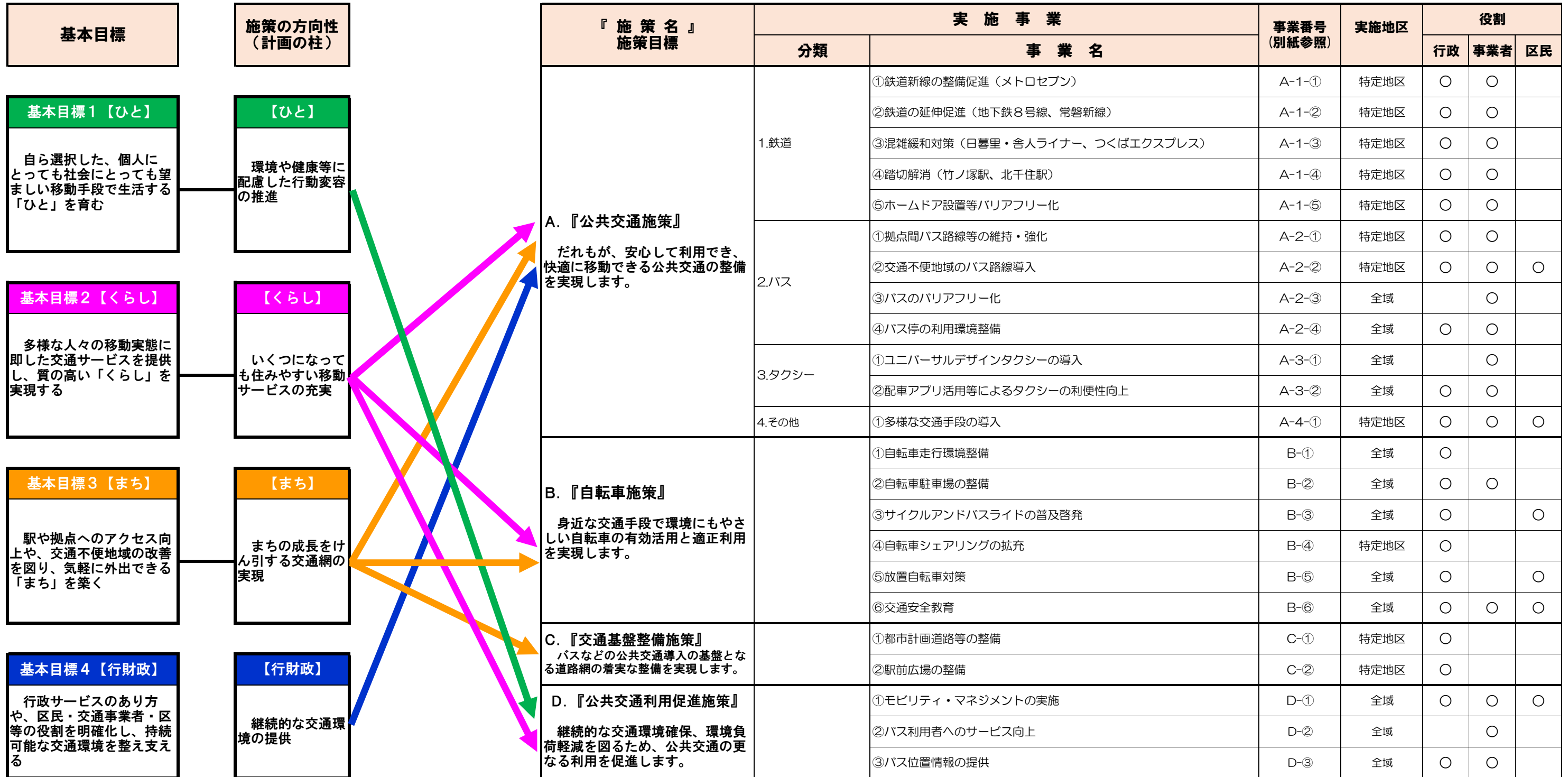
(3) 実施主体の役割

事業を実施するにあたり、行政、事業者、区民の役割を明確化しました。役割については、事業主体として直接担うもののほか、事業推進に向けた協力や支援など間接的に担う役割も含んでいます。

3. 交通施策と実施事業

目指すべき姿

多様な人の移動を支える交通環境の整った「まち」足立 ~区民・地域・事業者・団体・行政が一丸となって地域課題を解決する力「協創力」により、持続可能な交通環境を整える~



実施事業に関する「別紙」の見方について

事業番号：A-3-②
 施策名：A. 公共交通施策
 事業名：タクシーの利便性向上

・「実施地区」には、その事業の実施地区を「区全域」または「特定地区」で記載しています

実施地区	区全域
------	-----

・「現状」には、その事業に関する現在の状況を記載しています。

【現状】
 タクシーは、鉄道・バス等とともに地域の交通を担う公共交通としての機能を発揮するため、タクシーを気軽くする必要があります。

・「進め方」には、事業関係者ごとに、役割や今後の取り組み内容について記載しています。

【進め方】
タクシー事業者：GPS機能を活用したスマホ配車アプリなど、効率的なタクシーの配車を実現できるよう検討を進めます。
足立区：配車アプリの使い方や電話での予約方法など、タクシーの利便性向上につながる情報を発信します。

【配車アプリとは】
 名前と電話番号を登録し、タクシーを呼ぶ場所を指定するだけで、今すぐ呼ぶことや、予約すること、料金検索等ができます。待ち時間も表示されます。
 ※ 東京ハイヤー・タクシー協会は236社20,842台が導入（約67%）
 （2018年3月時点）

・その事業の内容を補足する資料を記載しています。

【画面イメージ】



【事業スケジュール】

項目	短期	中期	長期
タクシーの利便性向上	継続実施		

・「事業スケジュール」には、事業の実施時期を短期、中期、長期に区分して記載しています。なお、項目が複数ある場合には、項目ごとに記載をしています。

事業番号：A-1-①

施策名：A. 公共交通施策

事業名：鉄道新線の整備促進（メトロセブン）

実施地区	特定地区
------	------

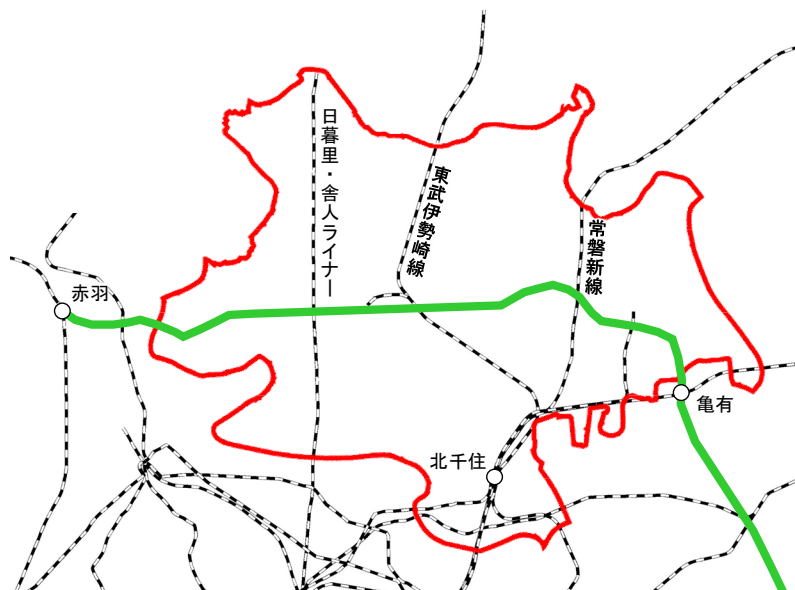
【現状】

平成28年4月に国の諮問機関である交通政策審議会答申第198号「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」では、「区部周辺部環状公共交通 葛西臨海公園～赤羽～田園調布」は「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」に位置づけられています。

現在、区部周辺部の新たな環状公共交通について東京都と関係区で構成する「区部周辺部環状公共交通都区連絡会」や足立区・葛飾区・江戸川区の3区で構成する「環七高速鉄道（メトロセブン）促進協議会」において、諸課題の解決を図るための検討や情報交換を行っています。

【進め方】

足立区：関係自治体等と連携しながら、メトロセブンの実現に向けた調査・研究を行います。



出典：「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について（平成28年4月）」

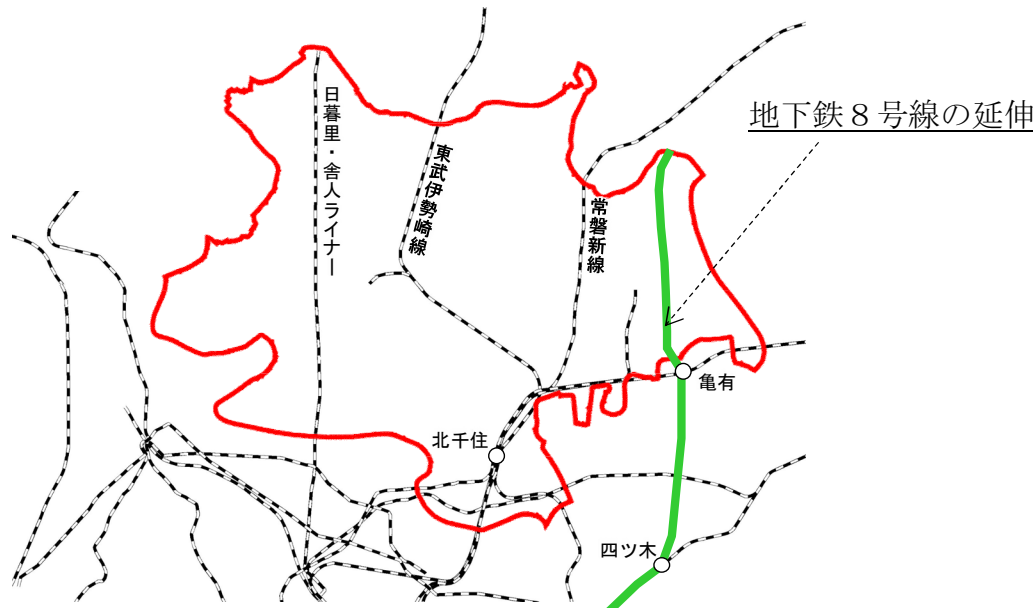
【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
	概ね5年	概ね10年	10年以降
鉄道新線の整備促進	継続検討		
	➔		

事業番号：A-1-②

施策名：A. 公共交通施策

事業名：鉄道の延伸促進（地下鉄8号線、常磐新線）

実施地区	特定地区
<p data-bbox="146 421 810 465">ア 地下鉄8号線（有楽町線）の区内延伸</p> <p data-bbox="165 510 264 555">【現状】</p> <p data-bbox="146 555 1447 674">平成28年4月に国の諮問機関である交通政策審議会答申第198号「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」において、地下鉄8号線（有楽町線）の延伸は、概ね15年後の東京圏の目指すべき姿を実現する上で意義ある路線に位置付けられました。</p> <p data-bbox="146 678 1447 797">足立区を通る「押上～野田市間」は、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトとして、都区部北東部、埼玉県東部及び千葉県北西部と都心部とのアクセス利便性の向上を期待されています。</p> <p data-bbox="146 801 1447 920">足立区では、区内延伸への取り組みとして、平成10年から沿線地域住民、議会及び行政が一丸となり「地下鉄8号線整備促進大会」を開催する他、観光イベントにおいてのPR活動等を実施し、地下鉄8号線（有楽町線）の区内延伸を目指しています。</p> <p data-bbox="165 976 296 1021">【進め方】</p> <p data-bbox="165 1021 1447 1140">足立区：答申の課題として示された「沿線自治体との協調」や「事業性の確保に向けた沿線開発」等の解決に向け、沿線自治体と連携を図り、実現に向け取り組みます。</p> <div data-bbox="383 1142 1420 1747"></div> <p data-bbox="319 1769 1420 1814">出典：「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について（平成28年4月）」</p>	

イ 常磐新線の延伸（秋葉原～東京）

【現状】

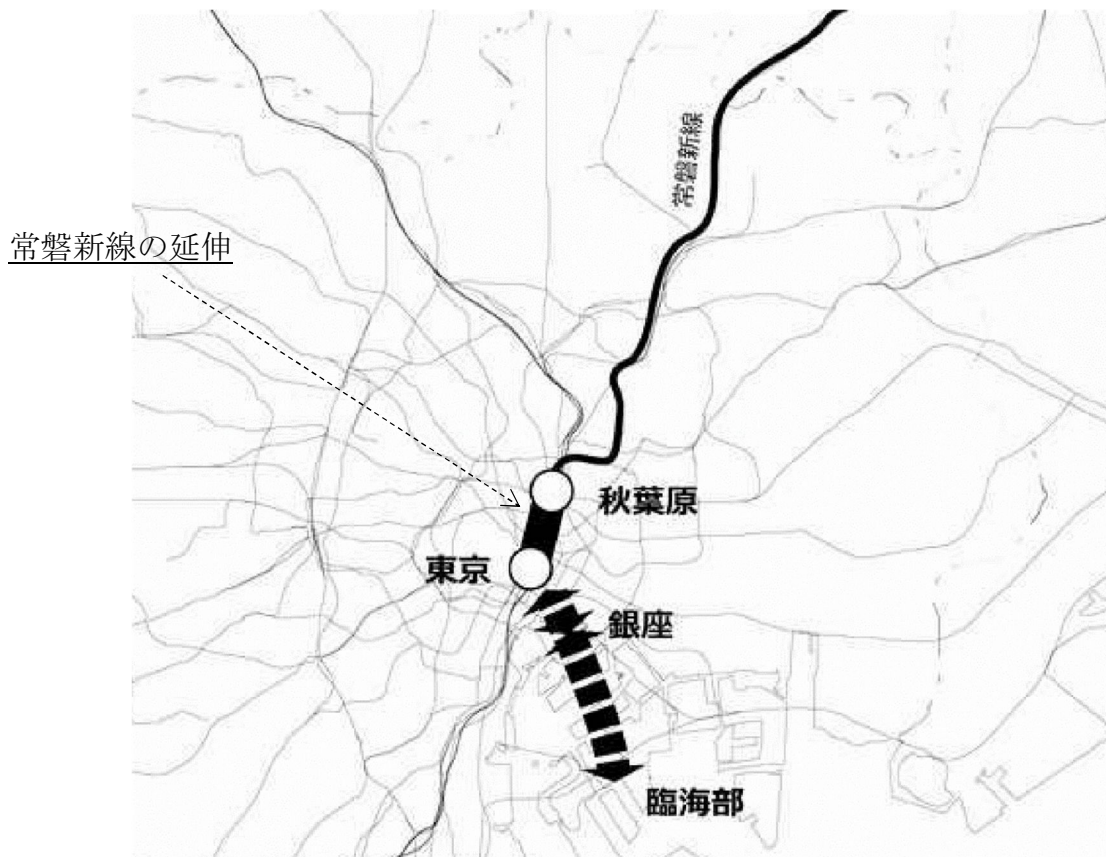
平成28年4月に国の諮問機関である交通政策審議会答申第198号「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」において、常磐新線の延伸（秋葉原～東京）は、国際競争力の強化に資する鉄道ネットワークのプロジェクトに位置づけられました。

また、都心部・臨海地域地下鉄構想の新設及び同構想と常磐新線の一体整備についても同答申では、触れられています。

【進め方】

足立区：引き続き、関係自治体と協力しながら実現に向けた要請活動を行います。

鉄道事業者：答申の内容を踏まえ、必要な検討を行います。



出典：「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について（平成28年4月）」

【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
鉄道の延伸促進	継続検討		
ア 地下鉄8号線	→		
イ 常磐新線			

事業番号：A-1-③

施策名：A. 公共交通施策

事業名：混雑緩和対策（日暮里・舎人ライナー、つくばエクスプレス）

実施地区	特定地区
<p data-bbox="150 421 571 456">ア 日暮里・舎人ライナー</p> <p data-bbox="165 506 264 542">【現状】</p> <p data-bbox="150 551 1430 627">足立区を運行する鉄道路線のうち、平成20年3月に開業した日暮里・舎人ライナーは、開業当初の予測を大きく上回る乗降客数を記録しています。</p> <p data-bbox="150 636 1430 882">東京都交通局では、開業以降、車両を増備するとともに、朝ラッシュ時間帯に増発を行うなど、適宜輸送力の増強を図ってきており、ロングシートへの座席の改修など、車内レイアウトも改善しています。また、快適通勤の実現に官民で取り組む「時差Biz」とも連携してオフピーク通勤を促進するキャンペーンを実施するなど、ハード、ソフト両面から混雑対策に取り組んできましたが、最混雑区間におけるピーク1時間当たりの混雑率が187%（平成29年度）と、混雑が解消されていません。</p> <p data-bbox="165 931 296 967">【進め方】</p> <p data-bbox="175 976 1430 1178">鉄道事業者：朝ラッシュ時間帯の混雑緩和を図るため、2019年度末に、座席を全てロングシートとし、全ての車両に車椅子スペース又はフリースペースを設けた新型車両を導入し2編成増備します。また、時差Bizと連携してオフピーク通勤を促進するキャンペーンを実施するなど、引き続きハード・ソフト両面から混雑対策に取り組めます。</p> <p data-bbox="175 1187 1430 1263">足立区：区のホームページやSNSなどで混雑緩和に関する取り組みについて、情報発信を行います。</p> <p data-bbox="453 1357 1126 1393">【全席ロングシート化されている320形の車内】</p> 	

イ つくばエクスプレス

【現状】

2020年春から新型車両を導入し5編成増備を行い、朝ラッシュ時間帯1時間の運行本数を現行の22本から25本に増やして混雑緩和を図ること、また、平成29年度末までにボックスシートのある車両は23編成中16編成がロングシート化され、残り7編成についてもロングシート化を進めていくとの見解が示されています。

【進め方】

鉄道事業者：車両編成8両化の検討を進めていきます。また、「時差Biz」等のオフピーク通勤に関する取り組みを継続します。

足立区：混雑緩和対策に関する取り組みについて、区のホームページやSNSなどで情報発信を行います。

【2020年春から運行予定新型車両イメージ図】



【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
混雑緩和対策 ア 日暮里舎人ライナー	車両導入(2020年) 目標値：18編成から20編成 →		
	混雑緩和対策 継続実施 →		
イ つくばエクスプレス	新型車両導入や増便(2020年) 目標値：37編成から42編成 →		
	混雑緩和対策 継続実施 →		

事業番号：A-1-④

施策名：A. 公共交通施策

事業名：踏切解消（竹ノ塚駅、北千住駅）

実施地区	特定地区		
【現状】			
<p>竹ノ塚駅や北千住駅で、ピーク時遮断時間が40分以上の開かずの踏切が存在し、道路渋滞の発生や地域の分断による生活の不便性、踏切事故の危険性等の問題が発生しています。</p>			
【進め方】			
<p>足立区：踏切解消に向け、竹ノ塚駅付近の連続立体交差事業の着実な事業推進を鉄道事業者と連携し進めます。北千住駅の踏切解消については、鉄道と道路の立体交差化をエリアデザイン計画の中で検討します。</p>			
竹ノ塚駅大踏切		北千住駅大踏切（補助139号線）	
			
【事業スケジュール】			
取り組み	短期	中期	長期
踏切解消	連続立体交差事業		
竹ノ塚駅付近	（踏切解消2021年度末、以降のスケジュールは精査中）		
			
北千住駅付近	立体交差化の検討		
			

（平成30年10月4日現在）

※平成30年1月31日予算プレス「踏切解消2021年度末、以降のスケジュールは精査中」

※現在、認可変更手続き準備中

事業番号：A-1-⑤

施策名：A. 公共交通施策

事業名：ホームドア設置等バリアフリー化

実施地区	特定地区
------	------

【現状】

鉄軌道駅のバリアフリーに関しては、「東京都福祉のまちづくり条例」に基づき、高齢者、障がい者等を含むすべての人が安全に安心して車両へ円滑に乗降できるよう配慮した構造とする必要があります。特に視覚障がい者の転落防止措置等の配慮を必要とする考え方が示されています。

現在、区内の駅では、TX全駅、日暮里・舎人ライナー全駅、東京メトロ千代田線・北綾瀬駅（1番線）、綾瀬駅（0番線）においてホームドアが設置されているものの、区内全駅における設置には至っていません。

また、国の移動等円滑化の促進に関する基本方針では、1日当たりの平均利用者数が3,000人以上の鉄軌道駅は、2020年度までのバリアフリー化が求められており、区内では東武スカイツリーライン堀切駅が未対応となっています。

【進め方】

足立区：足立区鉄道駅ホームドア等整備事業費補助金交付要綱に基づき、鉄道事業者に事業費の補助を行います。堀切駅のエレベーター設置についても鉄道事業者と協力しながら実現に向け検討を行います。

鉄道事業者：区内全駅のホームドア設置に向け、順次整備を進めます。

【ホームドアの設置事例（TX青井駅）】



【設置予定箇所】

設置時期	路線	駅名	箇所数
短期	日比谷線	北千住駅（ホームの管轄は東武鉄道）	9箇所
	千代田線	北千住駅、綾瀬駅	
	東武スカイツリーライン	北千住駅、小菅駅、五反野駅、梅島駅、西新井駅、竹ノ塚駅	
中・長期		牛田駅、堀切駅、西新井駅（大師線）、大師駅	7箇所
	常磐線	北千住駅	
	京成本線	千住大橋駅、京成関屋駅（現時点では計画は未定）	

【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
ホームドア	日比谷線、千代田線、東武スカイツリーラインの駅の一部 目標値：9箇所		
	その他の駅	目標値：7箇所	
エレベーター	継続検討 堀切駅		

事業番号：A-2-①

施策名：A. 公共交通施策

事業名：拠点間バス路線等の維持・強化

実施地区	特定地区													
<p>【現状】</p> <p>足立区では、「綾瀬・北綾瀬」「六町」「江北」「花畑」「千住」「西新井・梅島」「竹の塚」の7つのエリアを対象に、まちの特徴・魅力や求めるべき将来像などをエリアデザインとしてとりまとめ、街の更なる魅力の向上を進めています。</p> <p>【進め方】</p> <p>足立区・バス事業者：2021年度に開設予定となっている花畑の文教大学、江北の大学病院等の新規需要が見込まれる拠点や都市計画道路の整備状況を踏まえ、拠点間バスネットワークの強化に向け検討を進めます。</p> <p>【拠点間バス路線検討図】</p> <p>【事業スケジュール】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="167 1736 411 1780">取り組み</th> <th data-bbox="411 1736 1066 1780">短期</th> <th data-bbox="1066 1736 1236 1780">中期</th> <th data-bbox="1236 1736 1412 1780">長期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="167 1780 411 2027" rowspan="2">拠点間バス路線等の維持・強化</td> <td data-bbox="411 1780 1066 1870">文教大学・東京女子医大病院の開設（2021年度予定）に合わせたバス路線検討</td> <td data-bbox="1066 1780 1236 1870"></td> <td data-bbox="1236 1780 1412 1870"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1870 1066 2027">都市計画道路の整備や新たな拠点開発に合わせたバス路線の再編検討</td> <td data-bbox="1066 1870 1236 2027"></td> <td data-bbox="1236 1870 1412 2027"></td> </tr> </tbody> </table>				取り組み	短期	中期	長期	拠点間バス路線等の維持・強化	文教大学・東京女子医大病院の開設（2021年度予定）に合わせたバス路線検討			都市計画道路の整備や新たな拠点開発に合わせたバス路線の再編検討		
取り組み	短期	中期	長期											
拠点間バス路線等の維持・強化	文教大学・東京女子医大病院の開設（2021年度予定）に合わせたバス路線検討													
	都市計画道路の整備や新たな拠点開発に合わせたバス路線の再編検討													

事業番号：A-2-②

施策名：A. 公共交通施策

事業名：交通不便地域のバス路線導入

実施地区	特定地区
------	------

【現状】

区民意識調査より、交通空白地域に限らず、日常生活の移動における不便度が高い地域を抽出し、中でも、不便を解消する手段としてバス交通に対するニーズが高い地域につき、実効性の高いバス交通の導入が必要です。

【進め方】

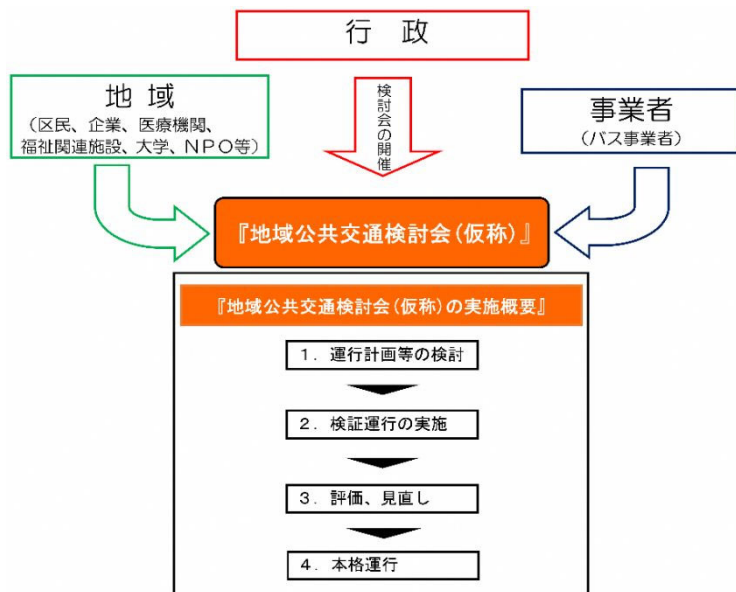
行政、バス事業者、地域が連携し「地域公共交通検討会（仮称）」を立ち上げ、運行計画の検討や検証運行を実施しながら不便度解消に資するバス交通導入を目指します。

足立区：「地域公共交通検討会（仮称）」を立ち上げ、地域やバス事業者と協力し、バスの運行計画検討や検証運行を行います。その後、効果検証等を踏まえ本格運行を目指します。

バス事業者：バス運行の最適なルートや収支予測など、事業者としての立場から技術的助言を行います。

区民：地域全体の利便性向上を目指し、地域における不便実態やバス需要を集約します。また、利用促進活動を推進します。

【事業イメージ】



【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
交通不便地域のバス路線導入	●モデル地域（1箇所） 組織の立ち上げ→運行計画検討 →検証運行→本格運行	●その他地域（順次） 組織の立ち上げ→運行計画検討 →検証運行→本格運行	

事業番号：A-2-③

施策名：A. 公共交通施策

事業名：バスのバリアフリー化

実施地区 | 区全域

【現状】

区内では、誰もが利用しやすいノンステップバスが運行していますが、一部の車両ではバリアフリー化を始めた当時主流であったワンステップバスが走行しており、全てのバスがノンステップにはなっていない状況です。

【進め方】

バス事業者：高齢者、障がい者、車いす利用者、小さなお子様をお連れの方、ベビーカー利用者など、誰もが利用しやすいノンステップバスを、順次導入します。

【バス車両のワンステップ事例】



【バス車両のノンステップ事例】



【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
区内全運行バスのノンステップ化	継続実施		
	→		

事業番号：A-2-④

施策名：A. 公共交通施策

事業名：バス停の利用環境整備

実施地区 | 区全域

【現状】

障がいのある方や高齢者など、誰もがバスを利用しやすい環境を整備するため、バス停にベンチや上屋、点字ブロックの設置を進めています。

【進め方】

足立区・バス事業者：ベンチについては、歩行者の移動に支障が無く、地下埋設物が無い等の条件が整う箇所において設置します。点字ブロックは、歩道が整備されているバス停で設置します。上屋については、交通広場の整備等にあわせて設置します。整備にあたっては、多くの利用者の滞留が見込まれる場所（駅周辺等）や高齢者が多数利用する施設の周辺（福祉施設、病院等）を優先的に行います。

【整備バス停イメージ】



【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
バス停の利用環境整備	継続実施 目標値：ベンチ 24 箇所、 点字ブロック 123 箇所	目標値：ベンチ 24 箇所、点字ブ ロック 122 箇所	
はるかぜ			
路線バス	継続実施		

事業番号：A-3-①

施策名：A. 公共交通施策

事業名：ユニバーサルデザインタクシーの導入

実施地区 | 区全域

【現状】

ユニバーサルデザインタクシー（UDタクシー）とは、足腰の弱い高齢者、車いす利用者、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の方など、誰もが利用しやすい「みんなにやさしい新しいタクシー車両」です（運賃料金は一般のタクシーと同じです）。現在、UDタクシーの普及が進んでいます。

【進め方】

タクシー事業者：誰もが快適に利用できるUDタクシーの更なる普及を進めます。

※ 都全域(島しょ部含む)約3万台の法人タクシーのうち、1万台を2020年までに導入目標

※ 区内におけるUDタクシー総台数は327台（2018年3月時点）

【ユニバーサルデザインタクシーのイメージ】



出典：国土交通省ホームページ



出典：東京ハイヤー・タクシー協会

【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
ユニバーサルデザイン タクシーの導入	目標値：1万台（都内） （2020年まで）	継続実施	

→

事業番号：A-3-②

施策名：A. 公共交通施策

事業名：配車アプリ活用等によるタクシーの利便性向上

実施地区 区全域

【現状】

タクシーは、鉄道・バス等とともに地域の交通を担う重要な交通機関の1つです。地域公共交通としての機能を発揮するため、タクシーを気軽に利用できるサービスを整えていくことが必要です。

【進め方】

タクシー事業者：GPS機能を活用したスマホ配車アプリなど、効率的なタクシーの配車を実現できるよう検討を進めます。

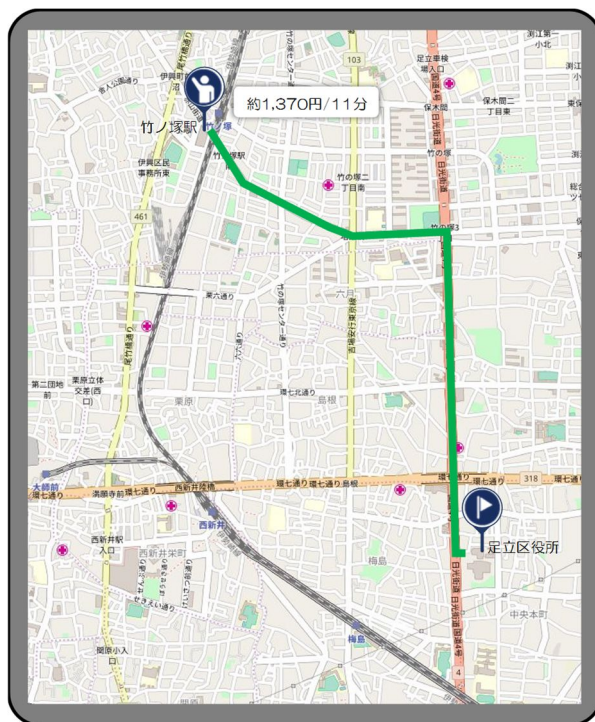
足立区：配車アプリの使い方や電話での予約方法など、タクシーの利便性向上につながる情報を発信します。

【配車アプリとは】

名前と電話番号を登録し、タクシーを呼ぶ場所を指定するだけで、今すぐ呼ぶことや、予約すること、料金検索等ができます。待ち時間も表示されます。

※ 東京ハイヤー・タクシー協会は236社20,842台が導入（約67%）
（2018年3月時点）

【画面イメージ】



【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
タクシーの利便性向上	継続実施		
配車アプリ等の活用			

事業番号：A-4-①

施策名：A. 公共交通施策

事業名：多様な交通手段の導入

実施地区	特定地区
------	------

【現状】

路線バスやコミュニティバスは、不特定多数の需要に対応した手段であり、一定規模の需要量が見込まれる場合に効率的・効果的な運送が可能となります。区民の移動ニーズが多様化する中、不便実態や需要に応じた交通手段の導入が必要です。

【進め方】

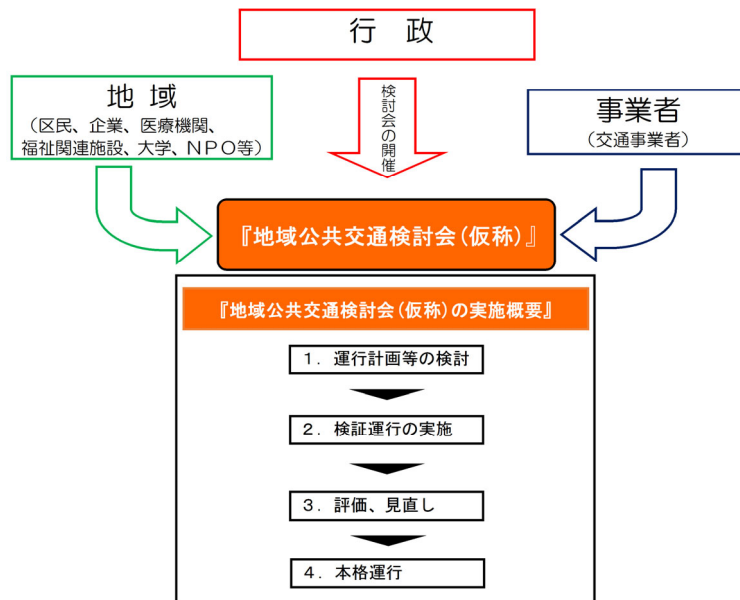
交通不便度が高くバスに対する需要が少ない地域において、行政、交通事業者、地域がと連携し「地域公共交通検討会（仮称）」を立ち上げ、運行計画の検討や検証運行を実施しながら不便解消に資する交通手段の導入を目指します。

足立区：「地域公共交通検討会（仮称）」を立ち上げ、地域や交通事業者と協力し、運行計画検討や検証運行を行います。その後、効果検証等を踏まえ本格運行を目指します。

交通事業者：最適なルートや収支予測など、事業者としての立場から技術的助言を行います。

区民：地域全体の利便性向上を目指し、地域における不便実態や需要を集約します。また、利用促進活動を推進します。

【事業イメージ】



【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
多様な地域公共交通の検討	●モデル地域（1箇所） 組織の立ち上げ→運行計画検討 →検証運行→本格運行	●その他地域（順次） 組織の立ち上げ→運行計画検討 →検証運行→本格運行	

事業番号：B-①

施策名：B. 自転車施策

事業名：自転車走行環境整備

実施地区 | 区全域

【現状】

足立区は平坦な地形であり自転車利用者が多く、鉄道駅周辺などでは自転車の事故も多く発生しているため、安全で快適な利用環境整備が必要となっています。

【進め方】

足立区：短期的には区の主要駅である竹ノ塚駅、六町駅、綾瀬駅周辺等において整備を進め、中・長期的には都市計画道路等広域なネットワークの整備を進めます（西新井駅、北千住駅地区は整備済み）。整備手法としては、「自転車ナビマークを単体で設置するもの」と「自転車ナビマークに自転車ナビラインを混在させて設置するもの」等があります。整備手法の選定にあたっては関係機関と協議を行い、歩行者、自転車、自動車それぞれの安全性に配慮した上で、道路幅員等に応じ自転車走行環境の整備を進めます。

【自転車走行環境の整備事例】

西新井駅周辺（ナビライン、ナビマーク）



西新井駅周辺（ナビマーク）



【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
自転車走行環境の整備	主要駅周辺等 (5地区)	都市計画道路等	
ナビライン、ナビマーク等の整備	→		

※自転車ナビライン：車道の進行方向左側に設置される路面表示で、自転車の走行位置と進行方向を示す青色矢印

※自転車ナビマーク：車道の進行方向左側に設置される路面表示で、自転車の走行位置と進行方向を示す白色矢印と自転車マーク

事業番号：B-②

施策名：B. 自転車施策

事業名：自転車駐車場の整備

実施地区 | 区全域

【現状】

区では、違法駐輪の解消を図り、道路の安全かつ円滑な利用を確保するため、駐輪施設の整備を進めています。

【進め方】

足立区：自転車の利用状況や民営自転車駐車場の設置状況を勘案して、自転車駐車場の新設を進めます。また駐輪施設の改修に合わせて、子ども乗せ自転車等に対応した施設の拡充に取り組みます。

民間事業者：「足立区民営自転車等駐車場設置補助金」制度を活用した民営自転車駐車場の整備促進を進めます。

【自転車駐車場の整備事例】

大型車対応駐車スペース



民営自転車駐車場



【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
自転車駐車場の整備 区営（新設・改修）	継続実施 (2020年まで2箇所)		
民間（新設・改修）	継続実施 (2箇所程度/年)		

事業番号：B-③

施策名：B. 自転車施策

事業名：サイクルアンドバスライドの普及啓発

実施地区 | 区全域

【現状】

サイクルアンドバスライドとは、出発地点（自宅など）から自転車で最寄りのバス停まで行き、バス停付近の自転車駐車場に駐車し、バスに乗り換えて目的地に向かうことです。現在区内にはサイクルアンドバスライドの活用が可能な自転車駐車場は9か所あります（例：宮城二丁目、椿二丁目、西新井六丁目等）。

【進め方】

- 足立区：サイクルアンドバスライドの存在や役割をPRし、民間事業者と協力しながら自転車利用者の公共交通利用を促進します。
- 区民：サイクルアンドバスライドを上手に活用して、積極的に公共交通を利用します。

【サイクルアンドバスライドの整備事例】



(設置場所：宮城二丁目4番、都営バス宮城三丁目バス停まで約50m)

【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
サイクルアンドバスライドの普及啓発	継続実施		
情報発信による利用促進	→		

事業番号：B-④

施策名：B. 自転車施策

事業名：自転車シェアリングの拡充

実施地区	特定地区
------	------

【現状】

ア. コミュニティサイクル「あだちやり」

竹の塚西、大師前、舎人公園駅下の3箇所の自転車駐車場において、相互乗り入れ可能なコミュニティサイクルを実施しています。

イ. レンタサイクル

北千住南自転車駐車場において、1か月単位で借りられるレンタサイクルを実施しています。

【進め方】

足立区：公共交通機関の補完、観光振興や産業振興等の視点を踏まえ、より効果的な自転車利用の促進を目指し、コミュニティサイクルの拡充や民間事業者との連携による近隣自治体と相互乗り入れ可能なシェアサイクルの導入を検討します。

【コミュニティサイクルの導入事例】



【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
コミュニティサイクルの拡充	継続実施 (西新井地区の追加)	継続実施の検討	
シェアサイクルの導入	検討・社会実験実施	本格導入の検討	

事業番号：B-⑤

施策名：B. 自転車施策

事業名：放置自転車対策

実施地区	区全域
------	-----

【現状】

駅周辺に放置された自転車は、路線バス、消防車、救急車等の通行に支障をきたし、歩行者（特に高齢者や障がいをお持ちの方）の通行を妨げ、非常に危険です。

足立区では、放置自転車対策業務と駐輪場の管理運営業務を一体化した総合自転車対策業務を実施し、効率的な街頭指導及び撤去活動を行っています。さらに、家庭で不要になった自転車を路上に放置させない対策として、所定の場所に持ち込むことにより無料で自転車の引き取りを行っています。

【進め方】

足立区：23区で最も低い放置率を維持していくため、街頭指導員を効果的に配置することにより、駐輪場への誘導、店舗への指導を強化します。また関係機関と連携して自転車の施錠を周知し、自転車盗難の抑制に取り組みます。自転車盗難を抑制することで、盗難後にそのまま放置される自転車を削減します（平成29年度足立区自転車放置率：0.3%）。

区民：自転車の施錠を徹底し、自転車を放置することなく駐輪場を積極的に活用します。

【放置自転車対策の事例】

無料引き取りポスター

いらない 無料 自転車 引き取ります!

※引き取りはご家庭で不用になった自転車に限ります。
※住所、氏名等を証する書類等を（運転免許証、健康保険証など）必ずお持ち下さい。

竹の塚移送所
足立区竹の塚1-15-11
電話:03(57)8869

中央本町移送所
足立区中央1-15-10
電話:03(52)0840

稲移送所
足立区稲1-1-9
電話:03(52)11212

北総湖移送所
足立区北総1-18-10
電話:03(57)93220

北千住南自転車駐車場
足立区北千住南4-1-19
電話:03(57)2619

五反野北自転車駐車場
足立区五反野北1-7-25
電話:03(58)712706

千住大橋自転車駐車場
足立区千住大橋1-07-1
電話:03(52)8449

四反野自転車駐車場
足立区四反野4-2-1
電話:03(57)12325

放置自転車対策の取組み状況



【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
放置自転車対策	継続実施		

事業番号：B-⑥

施策名：B. 自転車施策

事業名：交通安全教育

実施地区 | 区全域

【現状】

足立区では、幼稚園・保育園で交通安全教室を実施し、正しい道路の歩き方や横断歩道の渡り方を学びます。小学校では、「自転車安全運転免許証発行事業」、中・高等学校では、「スタントマンを活用した体験型交通安全教室」を実施し、交通安全意識の普及及び徹底に向けた取り組みを行っています。

また、大人に対する交通安全啓発として、地域での「スタントマンを活用した体験型交通安全教室」の実施や、高齢者に対する「住区センター巡回交通啓発活動」等を行っています。

【進め方】

足立区・警察：交通安全教育を継続して実施するとともに、より多くの区民が交通安全教育を受ける機会を創出して交通事故の防止を進めます。

交通事業者：行政と連携しながら積極的に交通安全教育に参画し、交通安全の防止に取り組みます。

区 民：交通安全教育を通して、交通ルールやマナーを正しく理解し実践します。

【交通安全教育の様子】



【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
交通安全教育	継続実施		
交通安全教室等の実施	➔		

事業番号：C-①

施策名：C. 交通基盤整備施策

事業名：都市計画道路等の整備

実施地区	特定地区
------	------

【現状】

都市計画道路は、まちの骨格を形成し、活力のあるまちづくり、安心して暮らせる場を作り出す施設です。東京都と23区は、区部における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画：平成28年度から平成37年度まで）に基づき、計画的に整備を進めています。

事業中の区施行の路線は、補助第138号線（環七南通り：関原三丁目）と主要区画道路②（亀田トレイン通り：西新井栄町一丁目）、補助第258号線（環七北通り：六町加平橋六町側）、区画街路14号線（西竹の塚二丁目）であり、その他、都施行や区画整理事業で行う路線もあります。

用地測量中の補助第256号線（花畑大橋通り）は、2019年度に事業認可を取得する予定です。

【進め方】

東京都・足立区：地権者や地域住民の理解と協力を得ながら、今後も事業を進めます。歩道や車道の整備とともに、無電柱化を行います。



【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
都市計画道路等の整備	継続実施		
・補助第258号、138号	→		
・主要区画道路②			
・区画街路14号	継続実施		
・その他の計画路線			→

事業番号：C-②

施策名：C. 交通基盤整備施策

事業名：駅前広場の整備

実施地区	特定地区																
<p>【現状】</p> <p>駅の交通結節点機能の向上を図るため、駅前広場の整備を進めています。</p> <p>【進め方】</p> <p>足立区：都市計画マスタープランで駅前広場整備の対象箇所として位置づけられている竹ノ塚駅、西新井駅西口、牛田・京成関屋駅、北綾瀬駅において、地域や交通管理者、交通事業者と連携を図り整備を進めます。</p> <p>【駅前広場の整備事例】</p> <p style="text-align: center;"><u>千住大橋駅前広場</u> <u>北千住駅東口駅前広場</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"></div> <p>【事業スケジュール】</p> <table border="1"><thead><tr><th>取り組み</th><th>短期</th><th>中期</th><th>長期</th></tr></thead><tbody><tr><td>駅前広場の整備</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>竹ノ塚駅西口</td><td>継続検討・実施</td><td></td><td></td></tr><tr><td>竹ノ塚駅東口、西新井駅西口、牛田・京成関屋駅、北綾瀬駅</td><td>継続検討・実施</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>		取り組み	短期	中期	長期	駅前広場の整備				竹ノ塚駅西口	継続検討・実施			竹ノ塚駅東口、西新井駅西口、牛田・京成関屋駅、北綾瀬駅	継続検討・実施		
取り組み	短期	中期	長期														
駅前広場の整備																	
竹ノ塚駅西口	継続検討・実施																
竹ノ塚駅東口、西新井駅西口、牛田・京成関屋駅、北綾瀬駅	継続検討・実施																

事業番号：D-①

施策名：D. 公共交通利用促進施策

事業名：モビリティ・マネジメントの実施

実施地区 | 区全域

【現状】

モビリティ・マネジメント（MM）とは、1人1人のモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等）に自発的に変化することを促す交通政策です。

公共交通の利用促進の取組みを支援する等の目的で、近年、各地で取られるようになっていきます。

【進め方】

足立区：公共交通の更なる利用を促し持続的な交通を維持するため、行政が主体となり、居住者、企業、学校等を対象にMM施策を実施します。まずは、区民に対するわかりやすい公共交通情報の提供やイベント等を活用した公共交通の利用促進PRなどを行い、足立区に合った効果的なMM施策を研究します。

交通事業者：行政と連携しながら、利用者のみならず新たな利用者の増加に向けて、交通に関する情報を積極的に発信し、公共交通の利用促進に取り組みます。

区民：区内の公共交通を維持していくため、公共交通の役割や利用方法を正しく理解し、自らに合った交通手段を選択します。

【モビリティ・マネジメントの取組みイメージ】



公共施設や観光施設等への公共交通によるアクセス方法など追加で掲載



便利でわかりやすい公共交通情報の提供

川西市小学校で実施された授業の様子
出典：川西市役所ホームページ

【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
モビリティ・マネジメントの実施	内容検討・継続実施		
・公共交通情報の提供 ・イベント等の開催			

事業番号：D-②

施策名：D. 公共交通利用促進施策

事業名：バス利用者へのサービス向上

実施地区 区全域

【現状】

一部のバス事業者では、交通系ICカード定期券や乗継割引の導入により、サービス向上が図られています。一方、ICカード導入には多大な費用がかかることから導入が困難な事業者も存在しますが、割引率の高い回数券の販売を行うことで利便性の向上を図っています。

【進め方】

バス事業者：バス利用者の更なる利便性の向上のため、交通系ICカード定期券や乗継割引の導入について検討します。また、ICカードが利用できない路線については、割引率の高い回数券の情報発信を進め、利用者へのサービス向上に努めます。

【ICカード定期券イメージ】



【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
バス利用サービスの拡充	導入に向けた費用 対効果の検討・実施		
ICカード定期券・乗継割引の導入	→		

※ICカード定期券は、路線バス（東京都交通局、東武バスセントラル㈱、国際興業㈱、京成バス㈱、）乗継割引は路線バス（東京都交通局）で導入済み（平成31年1月現在）。

事業番号：D-③

施策名：D. 公共交通利用促進施策

事業名：バス位置情報の提供

実施地区	区全域
------	-----

【現状】

利用者がバス停で運行状況を確認できるよう、北千住駅西口のはるかぜバス停で試験的な運用を始めています。

【進め方】

足立区：道路混雑によって、バスの定時性が確保できない時に、バス停でバスの走行位置をお知らせできる情報案内システムの導入や、携帯電話、パソコンで運行状況を調べることができるよう、地域BWA(※)の活用も含め運行状況の情報発信をバス事業者と連携して進めます。

※地域BWA：市区町村においてIT等の恩恵を受けることができない人の解消、地域の公共サービス向上等に資する高速データ通信を行うサービス

バス事業者（はるかぜ）：利用者がパソコンや携帯電話で、区内を走行するバスの位置情報を把握できるよう、バス接近情報の提供を検討します。

【バス位置情報提供の導入事例】

バス停における

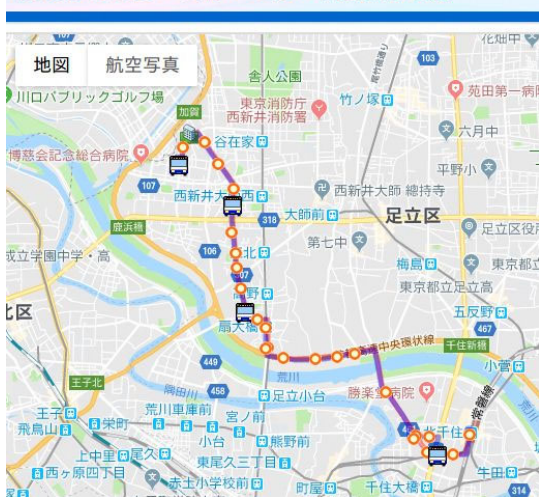
位置情報の提供事例（北千住駅西口）

インターネット上における

位置情報の提供事例（はるかぜ）



はるかぜ5号・6号・8号・11号運行状況



【事業スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
バス位置情報の提供	継続実施（1箇所/年）		
バス停での整備			→
インターネット上における位置情報の提供	継続実施		→

第5章 総合交通計画の進行管理

1. 基本的な考え方

本計画（Plan）を効果的・効率的に推進していくため、本計画に位置づけられた事業を着実に実行（Do）し、事業ごとに定めた目標時期（概ね5年、10年）に向け、その進捗状況を毎年評価（Check）し、事業が停滞していないかを確認します。この評価結果を基に事業を見直し、改善（Action）していきます。

① Plan（計画）

足立区総合交通計画の策定

② Do（実行）

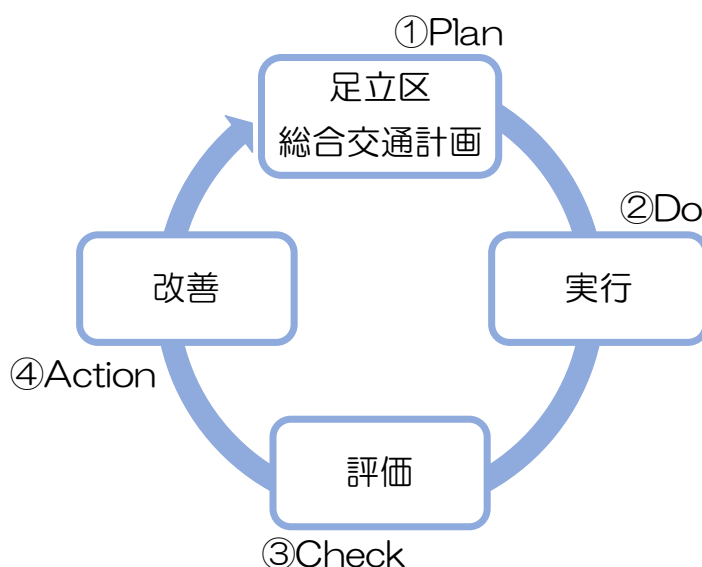
目標を達成するために設定した施策や事業を、事業者や区民などの関係機関と連携しながら推進します。

③ Check（評価）

計画の進行管理を行うため、「（仮称）足立区総合交通計画推進会議」を設置します。この中で事業主体が事業の進捗状況を報告し目標時期に完了するために問題がないかを確認します。特に、本計画期間の中間年においては、社会情勢や交通状況の最新の実態データを踏まえ、事業の評価を行います。

④ Action（改善）

実施した評価の結果を踏まえ、必要に応じて事業の見直し、改善を行います。



2. 進行管理体制

(仮称) 足立区総合交通計画推進会議の設置

総合交通計画に位置づけられた交通施策を着実に実行するためには、行政だけではなく、バス事業者や鉄道事業者などの交通事業者、サービスを受ける区民が本計画の目標を共有し、それぞれの役割を認識し連携して取り組む必要があります。

そこで、各事業の進捗状況を毎年確認し、問題や課題があれば解決策を検討するため、「(仮称) 足立区総合交通計画推進会議」を設置します。

構成員は、学識経験者をはじめ、区民または利用者の代表、交通事業者、道路管理者、交通管理者など交通施策に関する機関を基本とします。

【総合交通計画の進行管理体制】

(仮称) 足立区総合交通計画推進会議

【協議事項】

- 1) 計画の進行管理に関する事項
- 2) 計画に関する調査・研究に関する事項
- 3) その他、公共交通の維持・向上に関する事項 等

【構成員】

学識経験者、国及び都職員、住民又は利用者の代表、交通事業者、道路管理者、交通管理者 等